



10月～12月 はじめてのにほんご

内 容	初級日本語教室
対 象	市内に住むか通勤・通学している 18 歳以上の外国人住民（日本語ゼロベースの方）
場 所	かごしま国際交流センター
日 時	10月21日(火)28日(火)、11月5日(水)11日(火)18日(火)、12月2日(火)9日(火)16日(火)の18:30～20:00
参加費	1,000円(8回)
定 員	10名
申込期限	10月13日(月) 必着



10月 多文化共生セミナー

内 容	多文化共生分野の第一人者である田村太郎氏（一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事）を講師に迎えるセミナー
対 象	中学生以上
場 所	かごしま国際交流センター
日 時	10月31日(金) 18:30～20:00
参加費	無料
定 員	50名
申込期限	10月23日(木) 必着



11月 災害時多言語支援ボランティア募集・研修会

内 容	災害時に在住外国人を助けるボランティアを募集します。登録されたボランティアの方を対象にした研修も同時に行います。言語スキルを活かしたい方、防災に関心のある方、ぜひご参加ください。
対 象	18 歳以上
場 所	かごしま国際交流センター
日 時	11月1日(土) 13:00～15:00
参加費	無料
定 員	50名
申込期限	10月23日(木) 必着



11月～12月 韓国語講座 ①初級②中級

内 容	①基礎的な文法や単語などを学ぶ初級講座 ②会話中心の中級講座
対 象	市内に住むか、通勤・通学している ①文字(ハングル)の読み書きができる人 ②韓国語が話せる方
日 時	①11月5日～12月10日 毎週水曜 ②11月7日～12月12日 毎週金曜 ①②とも 18:30～20:00 (全6回)
受講料	2,000円(財団会員は財団が1,000円負担)※当日入会可
定 員	各16名(超えたら抽選)
申込期限	10月23日(木) 必着

12月 親子でワクワク～鳴らして♪踊って♪インドネシアってこんな国～

内 容	インドネシアのダンスや楽器「アングルン」の体験講座
対 象	市内に住むか、通勤・通学している 3 歳～6 歳までの子どもと保護者
場 所	かごしま国際交流センター
日 時	12月7日(日) 10:30～11:45
参加費	無料
定 員	12 家族(超えたら抽選)
申込期限	11月20日(木) 必着



12月 マチ探検 × 国際交流バスツアー

内 容	県内スポットへの国際交流バスツアー。観光や体験、そして日本人と外国人が触れ合うマチ探検等が楽しめます♪行先や行程はHPから。
対 象	市内に住むか通勤・通学している、中学生以上の日本人・外国人
日 時	12月14日(日) 9:00～17:30
参加費	3,000円
定 員	80名(超えたら抽選)
申込期限	詳細はHPから



12月 英語圏 CIR 自己紹介イベント

内 容	新たに鹿児島市国際交流アドバイザー(CIR)に着任されたカナダ出身の講師による、カナダを紹介するイベントを開催します。
対 象	市内に住むか、通勤・通学している英検準2級程度以上の人。(講座内でのリスニング・スピーキングも行います。)
場 所	かごしま国際交流センター
日 時	12月20日(土) 14:00～16:00
参加費	無料
定 員	20名(超えたら抽選)
申込期限	12月9日(火) 必着



1月～3月 英語文化語学講座(中級)

内 容	鹿児島市国際交流アドバイザー(CIR)による出身地域の紹介や社会問題等を含む現地でのホットトピックについてのディスカッションなど
対 象	市内に住むか、通勤・通学している英検2級程度以上の人。(講座内でのリスニング・スピーキングも行います。)
日 時	1月21日～3月18日 毎週水曜 全8回 18:30～20:00
参加費	2,000円(財団会員は財団が1,000円負担)※当日入会可
定 員	20名(超えたら抽選)
申込期限	1月13日(火) 必着



登録団体紹介

鹿児島市国際交流センターの登録団体を紹介します！

いのち・地球・平和を祈る会



平和の祈り巡礼 原爆被災者慰霊塔前 探勝園



平和の祈り巡礼 アメリカニューメキシコ サンタフェ協会

地球環境、世界情勢、いのちの尊厳あらゆる面で大きな変化の時を迎えています。今、人類はどこへ向かっていくのか一人一人が真剣に考えていくべきではないでしょうか。そのことを世界同時平和巡礼として行動していきます。

連絡先	鹿児島市岡之原町5060 いのち・地球・平和を祈る会(鎌田) 099-244-8319
-----	---

鹿児島県ベトナム人会



ベトナム人留学生による文化紹介講座



【ベトナムテト(旧正月)フェスタ2025in鹿児島】にてベトナム人会による竹ダンス

鹿児島県ベトナム人会は、地域のベトナム人同士の交流の場をつくるとともに、日本人や他の外国人との文化交流を促進することを目的として設立されました。

皆さんに一言

みんなと友だちになろう!多文化でつながる鹿児島

連絡先	Email:kva26012020@gmail.com 代表:VU THUY LIEN(ブーテューリエン) Facebook:Kagoshima Vietnamese Association https://www.facebook.com/KagoshimaVietnameseAssociation
-----	--

(公財) 鹿児島市国際交流財団 賛助団体会員紹介

公益財団法人 かごしま環境未来財団

かごしま環境未来財団は、鹿児島市の環境学習・環境保全活動の拠点施設である、かごしま環境未来館の運営をとおして、市民・事業者が環境について関心や理解を深め、日常生活や事業活動において、自発的に環境保全活動を実施するとともに、その活動の輪を広げていくことを促進するため、様々な事業を行っています。



有限会社 測上事務器

有限会社測上事務器は、事務用品・書道用品・オフィス家具・OA機器までオフィス環境のパートナーとして提案・改善をさせていただきます。快適で効率のよいオフィス環境づくりと喜びにつながるお手伝いをします。



鹿児島大学グローバルセンター

鹿児島大学グローバルセンターでは、国内学生の海外派遣支援や、幅広い海外研修プログラムの企画・実施を推進しています。現在、世界44か国・地域の留学生が372名在籍しており(2025年5月)、専門分野はもちろん、日本語・日本文化を学べる環境を提供しています。多様な学生が交流し、共に学ぶ「国際共修」の場づくりに力を入れており、約1万人の学生を抱える地域の中核大学として、鹿児島市国際交流財団とも連携しながら、地域の国際化と多文化共生の推進に貢献していきます。



賛助会員募集！

～市民の皆さまによって支えられています～

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。鹿児島市国際交流財団の活動に賛同してくださる賛助会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 参加料金の割引
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページからもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申込書を送付いたします。どうぞお気軽にお問合せください。

年会費

- 個人会員(1口)1,000円(家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員(1口)10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

【賛助会員のご案内】

下記QRコードから賛助団体会員の皆様のバナー一覧ページをご覧ください。(ページの下の方です。)
・個人会員の申し込みについてのご案内もあります。



公益財団法人 鹿児島市国際交流財団



鹿児島市国際交流財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島の発展に寄与することを目的としています。

〒892-0846 鹿児島市加治屋町19番18号 TEL (099) 226-5931
FAX (099) 239-9258 E-mail:kokusai@kiex.jp HP:https://www.kiex.jp
【開館時間】9:00～21:00(日曜日及び祝日は9:00～17:00)
【休館日】月曜日(祝日と重なる場合はその翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)



国際交流の推進

市民と外国人住民の親善・交流を深めよう！

国際協力の推進

市民による国際協力・貢献活動を支援します！

国際理解の推進

市民と外国人住民にお互いのことをもっと知ってもらう！

多文化共生の地域づくりの推進

市民と外国人住民が共に生きていく地域づくりを支援します！

鹿児島市国際交流だより

Vol.46
2025.10

KIEX だより



Event Report

- ① 新入外国人の歓迎交流会～ハーティーパーティー 2025～
- ② Taniyama Day Tour そうめん流し・考古歴史館体験講座
- ③ ホームビジット体験
- ④ 外国人コミュニティミーティング
- ⑤ インターナショナルカレッジ
- ⑥ 外国にルーツを持つ子どものパパ・ママ交流会

Column

アジア人・鹿児島 2025
中国 長沙市からの研修生へのインタビュー

- 講座・イベントカレンダー
- 登録団体紹介
- 賛助団体会員紹介

KIEXとは、公益財団法人鹿児島市国際交流財団の英語表記 Kagoshima International Exchange Foundation の略称です

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

Event Report

イベントレポート

新入外国人の歓迎交流会 ～ ハーティーパーティー2025～

開催日 5月18日(日)
参加者 278名

外国人住民と日本人住民と一緒に異文化を通して楽しみながら交流する、国際交流センター最大の交流イベント「ハーティパーティ」が今年もにぎやかに開催されました。

オープニングを飾ったのは、日本の伝統舞踊「春の海」。白い布を使った美しい所作と箏の音色に、大きな拍手が送られました。続いて登場したのは、インドネシアの伝統楽器「アンクルン」の演奏グループ「アンクルンビネカ鹿児島」。異なる音を出す竹の楽器をみんなで鳴らしながら、優しくも楽しいメロディを届けてくれました。

パフォーマンスの後には、世界のお菓子を味わいながら、参加者同士でおしゃべりを楽しんだり、会場内に設置された様々な体験ブースを回ったりしながら、異文化の魅力を満喫しました。また、会場全体を使った「世界のどこ?」クイズも行われ、来場者は会場内に貼られた世界の名所を興味深く見て回られていました。

最後には、おはら節をみんなで輪になって踊り、会場全体が一つになりました。この日、文化の違いを超えて、笑顔でつながる素敵な時間が流れ、国や言葉が違っても、気持ちは通じ合えることを実感できる一日となりました。



Taniyama Day Tour そうめん流し・考古歴史館体験講座

開催日 5月24日(土)
参加者 22名

鹿児島に来られた外国人住民の方に、日本文化や実際に生活する鹿児島の文化への理解を深めてもらおうと実施しました。留学生など22名の参加者が、貸切バスで慈眼寺公園のそうめん流しとふるさと考古歴史館に向かいました。

今回はあいにくの大雨となりましたが、雨の降る中外灯に照らされて幻想的な雰囲気になった慈眼寺公園に、参加者のみなさんはいつもと違う慈眼寺を感じながら、そうめん流しを堪能することができました。

ふるさと考古歴史館では、火おこし体験・弓矢体験・古代服試着を行いました。雨で湿気がたまっており、火おこしは大変でしたが参加者同士協力して一生懸命火をおこしていました。



ホームビジット体験

開催日 5月25日(日)
参加者 54名

外国人住民が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうことやお互いの交流を深めることを目的に、今年も「ホームビジット体験」を開催しました。

まずは、センターでの対面後、早速それぞれのホストファミリー宅に移動。初めて日本人宅にお邪魔する参加者もいる中、最初は緊張しつつも、それぞれのホストファミリー宅で味噌おでん、手巻き寿司などのおうちごはんを楽しんだようです。その後は、琴の演奏、神社参り、煎茶体験、駄菓子屋体験、書道、折り紙、竹とんぼ作り、大島紬の体験など、各ホストファミリーが考え、準備してくれたさまざまな日本文化を体験できたようです。また、参加者はお互いの言葉を教えあったり、文化の違いを話す中でお互いを知り、理解を深め、さらに家族の一員として日本の日常生活を過ごすことのできる貴重な時間を過ごし、交流を深めることができました!!

「参加者の声」
・異国の事をたくさん知る事ができ、貴重な体験ができました。子ども達も大満足でした。
・今日一日を通して、本当に素晴らしい体験ができたと感じています。今回は、私にとって初めて本当の意味で日本のご家庭に招いていただいた機会でした。



外国人コミュニティミーティング

開催日 6月7日(土)
参加者 19名

外国人コミュニティの中心となる方々や、外国人とのつながりを持つ日本人団体の方々にご参加いただき、交流と意見交換を行いました。

今回は特に、災害時における情報伝達について話し合いました。災害時には、避難が困難な人や、川の近くなど危険な場所に住んでいる人に、どのようにして正確で迅速な情報を届けるかが重要になります。そこで今回は、鹿児島市の防災マップを活用し、自宅や職場の周辺の危険箇所をグループごとに確認しながら、現実的な対応策について意見を交わしました。

この「外国人コミュニティミーティング」は今年で5回目となり、継続して参加されている方も増えています。そのため、情報伝達に関する話し合いもより実践的な内容となってきています。笑顔でお互いの顔を見ながら話し合う姿が印象的で、「顔の見える関係」が着実に築かれてきていることを感じます。



インターナショナルカレッジ

開催日 6月29日(日)
参加者 57名

鹿児島市に居ながらにして外国の文化を体験したり、異文化を理解してもらうことを目的に「インターナショナルカレッジ」を開催しました。

「世界のことを聞こう!知ろう!体験しよう!」のテーマのもと4つの講座を実施。普段考えることの少ないトピックについて英語で深堀したり、魅力たっぷりのベトナム文化講座、南アフリカの国歌について学びました。

さらに、今年はスペシャルコラボイベントとして、日米の次世代リーダーの育成を目指すTOMODACHIによるパネルディスカッションも開催しました。

海外での留学や仕事体験がどのように地域貢献に活かされているのかなど、普段とは違う学びや理解を深めたり、今後の進路選択のヒントとなる貴重な時間となったようです!!

「参加者の声」
・今回の講座に参加してもっと外国や、言語について学びたいと思いました。グループ活動を通して鹿児島のことについて考えたり、講師の方のプレゼンを聞いて新しいことを学ぶことができました。
・とても興味深い内容で高校生として多くの学びを得ることができました。皆さんの1つ1つのお話が本当に素敵で良い刺激になりました。



外国にルーツを持つ子どものパパ・ママ交流会

開催日 7月13日(日)
参加者 11名

今年度からの新規事業として、海外にルーツを持つ子どもや保護者が抱える問題を解決するために、現状や解決策についての情報交換会等を開催しました。

第1回目は、名山小日本語教室担当の鳥居先生にご協力をいただき「パパ・ママ交流会」と、FROLIK(鹿児島の大学・短期大学生による外国にルーツを持つ子どもとその親へのサポート団体)にご協力をいただき、「みんなで遊ぼう!&宿題サポート」を開催しました。

「パパ・ママ交流会」では、日本の小学校や日本語教室についての紹介から始まり、学校や普段の生活の中で感じている悩みごとや情報共有などを行い、同じ悩みをもつ保護者同士の繋がりがもできました。

また、「みんなで遊ぼう!&宿題サポート」では、大学生による宿題サポートや多国籍の子ども達同士が楽しく遊ぶ姿がとても印象的で、保護者の方々がゆっくりお話しできる助けとなりました。

「参加者の声」
・子どもは違う国の子どもと一緒に遊んだり、私たちも情報収集・悩みをシェアできてとてもいい時間でした。



Column

アジアン・鹿児島2025～第18回かごしまアジア青少年芸術祭～

(写真は2024年撮影) (KAYAF : Kagoshima Asian Youth Arts Festival)



アジア各国の青少年と鹿児島市の青少年(全9団体予定)が鹿児島市に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める「かごしまアジア青少年芸術祭」を宝山ホール・中央公園等で開催します。詳細は国際交流センターホームページをご覧ください。

10/19日

①青少年音楽祭(宝山ホール) 12:30開場/13:00開演
鹿児島を含むアジア各国の青少年団がアジアの素晴らしい音楽・伝統芸術文化等を来場者の皆様へ届けします。

②アジアン屋台(中央公園) 10:30～16:00
普段なかなか味わうことのできなアジア各国の料理や、様々なフードやドリンクが楽しめます。

③異文化体験ブース(宝山ホール前) 10:30～16:00
今年からの新しいエリアです!外国住民の方にも協力いただいて、アジアを含む海外の文化を体感しながら交流も楽しめます。

ワーキンググループボランティアスタッフについて

「アジアン・鹿児島」は、鹿児島市の青少年(中学生～20代)で構成する「ワーキンググループボランティアスタッフ」56人が企画・準備・当日運営に携わっています。7月からワーキングがスタートし、アジアン・鹿児島を盛り上げてくれる企画や運営についての準備を進めています。

【協賛企業のみなさま】

今年もたくさんご協力をいただきありがとうございます。ホームページに紹介記事を載せていますので、是非ご覧ください。

ANA misumi 鹿児島市内のロータリークラブ Rotary セイカ食品株式会社 JAPAN AIRLINES ライフサポート JAGグループ鹿児島
瀬辺組 サルベス 鹿児島トヨ かんぽ生命 鹿児島市公営公社 FamilyMart 鹿児島市公営公社 AMU CentTerrace
La Plus 仙臺園・尚古集成館 鹿児島銀行 東武トップツアーズ 日本ガス トヨレンタリース鹿児島 鹿児島信用金庫
鹿児島サンロイヤルホテル 伊豆山カローラ鹿児島 新南日本総合サービス 西原商会 鹿児島トヨペット 明石屋 株式会社久永

友好都市 中国 長沙市からの研修生へのインタビュー

中国長沙市から鹿児島市への研修生の彭国琦(杣 国琦)さんが、2日間国際交流センターへの研修に来られました。

Q1. 長沙市の紹介をお願いします。 Q2. お仕事と鹿児島に来たきっかけは? Q3. 鹿児島市で印象に残っていることは?

中国湖南省の省都で、楊子江の支流湘江に沿って発展した、3000年以上の歴史を持つ都市です。人口は約1100万人で、機械製造業が盛んで、激辛料理が有名です。「機会の都」「美食の都」「不夜城」として知られています。

衛生健康局の公務員です、主に公立病院の管理や健康促進の取り組みをしています。友好都市の協定に基づき、鹿児島市への研修生の派遣が6年ぶりに再開されました。

今まで最も印象に残っていることは「今日の灰、多いね」と挨拶して笑いあう地元の人々の姿だと思います。火山灰で作られた桜島灰石蝕や陶器があると知り、鹿児島では「自然の力と人間のたくましさ」が共存していることが印象的でした。